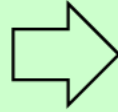


畑地かんがいを利用し夫婦の労働力で可能なトマトのハウス栽培に転換 ～吉谷地 三郎 氏～

経営体の概要

事業実施前：平成4年
 基幹作物：レタス、とうもろこし、
 ブロッコリー
 経営面積：2.7ha



現在：平成27年
 基幹作物：トマト（施設）、レタス
 経営面積：0.3ha

取組の経緯と経営転換のポイント等

退職後、専業農家としてレタス等の野菜栽培に取り組み、レタスの契約出荷に取り組んだが、契約出荷を継続する労働力が不十分となってきたことから、畑地かんがいが整備されたことを契機に、夫婦の労働力で可能なトマトのハウス栽培に転換した。普及センターの指導や農協部会の勉強会等に参加し、栽培技術の習得を積極的に行い、県の目標単収を上回る収量を確保している。

営農改善のポイント

① 作物の変化

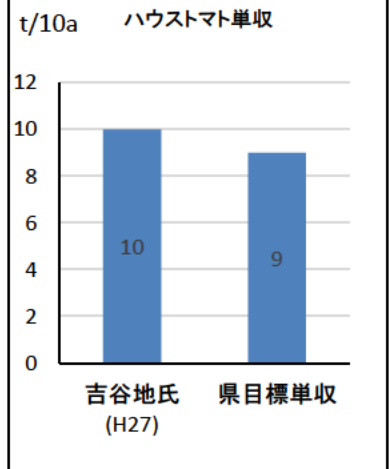
退職後、専業農家としてレタスを中心に生産して契約出荷をしてきたが、定時・定量の出荷量を保つ労働力（夫婦2人）を十分に確保できなくなってきたことから、畑地かんがいが整備されたことを契機に、夫婦の労働力で可能なトマトのハウス栽培に転換した。

② 栽培技術の確立・向上

新たにトマト栽培を開始したため、普及センターによる営農指導を受けるとともに、農協トマト部会の勉強会、種苗会社担当者が講師となる指導会等への積極的な参加により技術を習得し、平成27年には単収が岩手県の目標（9t/10a）を上回る10t/10aとなっている。

③ 省力化

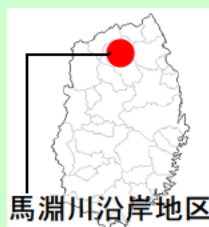
労働力が限られている中で効率的な生産を行うため、現在のひもを用いたつる下げによる誘引方法から、真上に伸ばした茎をハウス上部に設置したパイプ等にかけて後に果実の重さで自然に下げる「Uターン栽培」への変更を検討している。



事業概要

事業種：国営かんがい排水事業
 関係市町：二戸市、一戸町
 受益面積：2.191ha
 事業期間：平成5年～平成23年
 事業目的：用水改良、畑地かんがい
 主要工事：ダム1箇所、揚水機場4箇所、
 用水路L=83km

位置図（岩手県）



<問い合わせ先>

東北農政局
 農村振興部農村環境課
 電話：022-263-1111
 （内線4448）

（平成28年度調査時点）